

みなみ十字 第42号

☆おかしを作ったこと

小学部5年1組(執筆時)

小林 亜里沙

私は、八月十五日に

しバラのおかしを作りました。おがしの名前は「ナスタル」といい、そのおがしの中にはジャムが入っています。イチゴジャムやパイナップルジャムのほかに、いろいろなジャムがあります。私の好きなジャムはイチゴなので、ナスタルの中にイチゴジャムを入れました。そして焼きました。だいたい一時間くらいオーブンから出しました。

一回目は、材料が多すぎたのでかたくなり失敗しました。

二回目は成功しました。オーブンをあけるとすごくおいしそうなおいおかしができました。私は少し冷たくなるまで待ちました。五分くらい経って少し冷たくなったので、私はさっそく味見をしました。ナスタルは思ったよりもおいしくてよかったです。お母さんが「明日も作るよ。」と言ったので、私はびっくりしました。

明日はパイナップルジャムのナスタルに挑戦し、おいしく作りたいです。パイナップルのナスタルは、ハンドンに持って行って、みんなに味見してほしいなと思いました。

フラッシュ・ニュース

■輝く人生に

人気バンドワット歌手のデヴィ・ブルックさん(通称デベ)が18日に26歳の誕生日を迎えた。今年には友人や家族とのパーティーを行わず、一人でじっくりと考える時間をとったという。「これまで仕事で上手くいっているときは恋人がいなくて、恋人がいたときは仕事が上手くいかなかったわ。26歳は両立を目指すの」とデベ。(オケノン)

■やつらを一網打尽

ジョクジャカルタ特別州天然自然保護局(BKSDA)は20日、同州グヌンキドゥル県で、オナガザルの捕獲作戦を行ったことを明らかにした。作戦は、増えすぎたザルが農作物を荒らすことから実施。計80匹が捕獲された。(アンタラ)

■ご飯を食べて大きくなる?

2011年に保健省が行った調査で栄養が足りていないことが原因で、平均よりも身長が低い子どもが多いことが明らかになった。エンダン・ラハク保健相は21日「十分な栄養が摂取できていないために、10人に3〜4人の子どもの身長が低いままになっている」と語った。2012年は2歳までの乳児を対象に対策を講じるという。(ドゥティック・ヘルス)

■先生への気持ちが変わる?

11月25日の国家教師の日になんで、中部ジャワ州ソロ(スラカルタ)の国立第二高校はこのほど、教師もまねコンテストを開催した。生徒と教師の親交を深めるのが目的。参加した生徒たちは、授業中の教師の教え方やくせなどを真似て競い合った。そのほか、先生の似顔絵コンテストなども行われた。(ソロ・ポスト)

オピニオン&コメンタリー

■来年の芸能界はどうなる

今年(ダンドゥット歌手の)アユ・ティンティンと(元・ゴロンタロ州警察機動隊員の)ノルマン・カマルが成功した年といえる。来年、アユの人気はさらに増すだろう。だけど、ノルマンは爆発的人気になることはない。視聴者はノルマンに飽きてしまうため、ノルマンの芸能人としての先行きは険しいだろう——映画監督のキ・クスモさん(コンパス)

DPの2.5%に

グセス・エコノミクス産業の影響と今後の展望を発表した。報告書のスピードで成長し、約百二十六兆ルピア(約百二十六兆円)に増加するとシララの整備に加え、NS)人気が背景に

雲端末へ

ドとフェイスブックの場がインターネット人口の大きな要因になったの見解を表明。国際電気通信連合(ITU)によると、昨年時点で億二千万人の携帯電話利用者があり、インターネット普及率は九分五厘に上った。ほかの調査団体結果からも想定以上の伸びが考えられる」と予測し

これまででは、ワルネット六二〇年の一千万台市場に向けてたすう勢を決める年。残りの二百万台をどう分け合うかが鍵になる」と語り、来年以降も積極的な展開を行うと明言した。(自由史)

NSの利用を目的にしており、スマートフォンだけではなく、コンピュータの普及や有線インターネット接続の低価格化、地方における通信インフラ整備が進めば、個人ユーザーだけでなく、中小企業がビジネスで利用する機会も多くなり、増加傾向はさらに顕著になるとの見解を示した。

谷法務官 政務官 「法整備支援で投資促進」 最高裁長官らと会談

二十日にカンボジア・ブダ・アリスババナ国家開発計画庁(ハベナス)長官、到着した谷法務大臣政務官は二十一日、アルミ議長、デニー・インドラヤナ法務人権副大臣とそれぞれ会談した。今回の訪問は、法務省が国際協力機構(JICA)などと二〇一二年から行ってきたインドネシアへの法制度整備支援について、進捗状況などを確認するとともに、今後の協力のあり方を協議することが目的。日本はこれまで、和解・調停制度などで協力してきた。それぞれの会談では特に、日本企業の経済活動の円滑化へ向けた法整備について意見を交換した。インドネシア側からは日本からの専門家派遣や法曹関係者の日本への招へいなど人材育成の面で協力があるに強化したいとの要請があり、谷法務官は「法曹関係者を中心として人的交流をより強化していきたい」との方針を示した。谷法務官は「法制整備支援は投資環境の整備と国



会談後、ハリフィン最高裁長官(左)と握手を交わす谷法務官

スリップ事故原因調査開始が5人

ジョクジャカルタ特別州

「行くかは警察の判断」

内相

スリップ事故原因調査開始が5人

ジョクジャカルタ特別州



スリップした機体の回収作業は21日も進まず、空港敷地内に待機させたままとなった=アンタラ通信

のエアースチプト空港で二十日午後五時十五分ごろ、着陸したスリウィジャヤ航空所有のボーイング737-300機(SJ230)が滑走路でスリップし、便が滑走路でスリップし

た事故で、国家安全運輸委員会(RNKT)は、原因究明の調査を開始した。国営アンタラ通信は、二十日、乗員乗客百三十一人のうち、五人がけがを体調不良を訴えていると報じた。一方、スリウィジャヤ航空のアグス・スジョノ広報担当は二十一日、けが人はなかったと発表している。空港を運営する第アンカサ・プラタの担当取締役は「旅客機は、ブレーキがかからず、制御できなくなったようだ」と明らかにした。

空港は二十日、一時閉鎖状態となったが、二十一日は平常通りの運営が行われたという。スリップした便は、ジャカルタ発ジョクジャカルタ行きだったが、二十日の悪天候により一度エアースチプト空港上空で目的地を東ジャワ州スラバヤのジュアンタ空港に変更し、その後、スタバヤで給油した後、航行許可が出たため、ジョクジャヤへ向かい、着陸したが、滑走路でスリップ。機材からは一時、黒煙が出た。

「予算執行急げ」

ボゴールのXマス礼拝

予算執行急げ

ボゴール市は二〇〇八年

予算執行急げ

ボゴール市は二〇〇八年